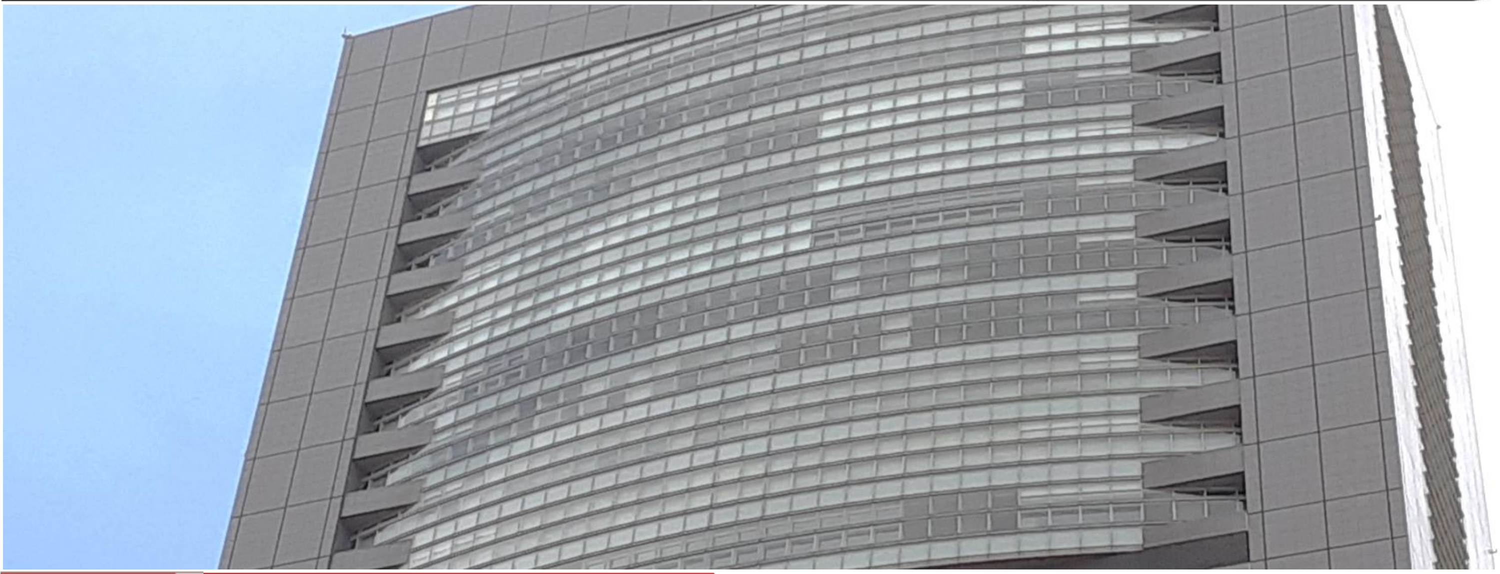
TOKYO MAIL NEWS
輸送サービス労組 東京地本
WEBSITE
SNS
No. 092 / 2024.9.26



BREAKING NEWS

鉄道車両における輪軸の緊急点検

社員には速やかな正しい報告を求めるも、データ改ざんを公表せず！
鉄道輸送の安全確保の仕組みを根底から覆す「究極の安全」！

　JR貨物での不正を受けて、国土交通省が全国の鉄道事業者に対して、鉄道車両における輪軸の緊急点検を指示していました。

　点検を実施した結果、JR東日本では、過去約9年間、輪軸組立時のデータを改ざんしていたことが発覚し、24日より国土交通省の特別保安監査が行われています。

◆ 今回のデータ改ざんによる不正を受けて

JR東日本	国土交通省
社内の基準で安全が確保されていた。	鉄道輸送の安全確保の仕組みを根底から覆す行為であり、極めて遺憾。

「究極の安全」と「法令遵守」はどこに行った？

　社内では、現場社員に「速やかな正しい報告」を求めている一方で、企業として「データ改ざん」の不正行為を認識しつつも、その事実を公表しませんでした。現場社員の不信感は増して、帰属意識は低下しています。会社が「社内の基準で安全が確保されていた」とした説明は「ＪＲ東日本の常識は社会の非常識」と称されるように、憲法や法令よりも「組織の掟」を優先する歪な企業風土と傲慢な経営姿勢が事態を招いています。不正に至る経緯や公表せずにいた原因究明と再発防止を求め、公共交通の使命と責務が果たせる健全なＪＲ東日本を取り戻さなくてはなりません。